

事業番号	13 01 02	事業改善シート(令和3年度実施事業)			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検
事業名	水道事業(末端給水事業)	部局	企業局	課・室	水道事業課
		実施期間	S38 ~	E-mail	kigy@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	2-5 地域に根差した産業の振興 5-2 女性が輝く社会づくり	4-1 県土の強靱化 6-1 個性豊かな地域づくりの推進	4-5 地球環境への貢献		

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】 給水エリア(長野市・上田市・千曲市の一部と坂城町)における将来給水人口や水需要が減少する見込みの中、施設・管路の大量更新期における投資額の増大が見込まれている。このため、経営の安定を確保しつつ、老朽化対策を推進するとともに、大規模災害に備えた、施設・管路の計画的な耐震化が必要。また、将来の水道事業の広域化を見据え、地域との共同・連携、培ってきた技術力を活用した地域貢献が求められる。
	【目指す姿】 「将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成と広域連携の強化」 ・お客様に安全・安心な水道水を安定的にお届けできるよう、アセットマネジメント(長期的収支予測に基づく資産管理)を活用して施設・設備の計画的な更新等を実施 ・お客様サービスの充実に向けて、関係市町村等との連携を強化するとともに、地域における官民連携を推進し、顧客満足度を向上 ・近年頻発する大規模災害等を踏まえ、基幹管路の耐震化を前倒して実施するとともに、災害発生時における広域的連携を強化 ・知事部局と連携して市町村等とともに設立した長野県水道事業広域連携推進協議会等において、広域化・広域連携等の取組を推進 【実施内容】 ・施設設備の老朽化対策、耐震化及び有収率向上対策、「安心の蛇口」の整備、市町村支援等の地域貢献 など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	経常収支比率	%	114.2	115.3	↑	113.1	↓	102.9	達成
2	損益	千円	491,756	514,419	↑	457,574	↓	106,801	達成
3	有収率	%	86.5	86.7	↑	86.4	↓	90.2	未達成
4	基幹管路の耐震適合率	%	93.9	95.1	↑	96.0	↑	95.5	達成
5	重要給水施設に至る管路の耐震化ルート数	累計	28	29	↑	33	↑	31	達成
6	老朽管残存率	%	0.0	0.0	→	0.0	→	0.0	達成
7	塩化ビニル管等の解消率	%	0.0	3.8	↑	19.2	↑	23.1	未達成
8	「安心の蛇口」の整備数	箇所累計	7	10	↑	12	↑	14	未達成

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
前年度繰越額	681,956	802,306	1,063,854
当初予算額	7,507,163	7,530,026	7,409,742
補正予算額	60,755	-13,258	40,371
合計(A)	8,249,874	8,319,074	8,513,967
うち一般財源	0	0	0
決算額(B)	6,940,924	6,774,268	7,218,350
職員数(人)	45.0	45.0	44.0

成果指標及び目標値の設定理由	「長野県公営企業経営戦略」(平成28年2月策定)に基づく指標 1.2 財政計画に基づき経常収支比率100%以上を維持し利益を確保 3 経営安定のための有収率(配水量に対し料金収入の対象となった水量)の向上 4.5.6.7 投資計画に基づく耐震化の推進、老朽化対策、有収率の向上 8. 応急給水拠点「安心の蛇口」の整備(熊本地震の状況等を踏まえ、令和7年度までの整備目標11か所→20か所に倍増)
達成状況の分析	・経常収支比率(経常収益の経常費用に対する比率)及び損益は、費用が増加したものの、料金収入が予算を上回った(給水戸数の増等による)ため、目標を達成した。 ・有収率については、その向上に向け漏水箇所の迅速な把握・修繕や老朽管の解消に努めたが、漏水箇所の特定に難航したことから、その目標に達せず前年度を下回る結果となった。令和4年度は従前からの取り組みに加え、新技術である衛星を利用した管内全域の漏水調査により漏水箇所を特定し、有収率の向上を目指す。 ・基幹管路及び重要給水施設に至る管路の耐震適合率は、計画どおり工事を実施し、目標を達成した。 ・塩化ビニル管等の解消率については工事を進めているが、基幹管路の耐震化を優先して進めているため、目標値に届かなかった。 ・「安心の蛇口」については、令和3年度に2か所着工し、繰り越しで令和4年度に完成予定。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 老朽化対策・耐震化の推進による経営の安定 <ul style="list-style-type: none"> 完了時期を前倒し(2025年度→2024年度)した基幹管路耐震化を継続して推進 令和元年東日本台風等を受け、浄水場やポンプ施設等への豪雨(浸水)対策を推進 老朽化対策の確実な推進・水道施設等のダウンサイジング検討 ✓ 地域貢献・地域との共存・共栄 <ul style="list-style-type: none"> 漏水調査機器の貸出及び技術支援による市町村有収率向上支援、市町村等水道事業者相談窓口の運営、実務研修会の開催等による市町村支援 ✓ 安全・安心の確保に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> 県営水道(末端)災害時受援体制の整備 令和元年東日本台風等を受け、浄水場やポンプ施設等への豪雨(浸水)対策を推進(再掲) 「安心の蛇口」の整備(2か所) 「長野県水道事業広域連携推進協議会」(令和2年10月設置)
------	--

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	給水収益の増加が難しい状況の下、投資額の平準化等により経営の健全化に留意しつつ、水道施設の老朽化対策及び耐震化、危機管理対策等に引き続き計画的に取り組むことが必要。	令和3年3月に改定した「長野県公営企業経営戦略」の着実な推進を図るほか、「長野県水道事業広域連携推進協議会」等を通じて県内市町村等と連携し、持続可能な経営に向けた広域化・広域連携策や今後の水道のあり方等について引き続き検討を進めていく。